



学校だより くんとう 薫 隆

令和5年1月28日(土)
かほく市立七塚小学校
校長 宗廣 進一

学校教育目標 「自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成」

自然の猛威 頼もしい子ども達

はやいもので、新年が開けて1か月がたちました。地球温暖化の影響なのかどうかはわかりませんが、今年の冬は荒天の日が多いですね。七塚小学校は海に隣接した立地のため、日本海からの冬の季節風が強烈です。しかも、急変することが多いこともあり、子ども達の下校のことで対応が難しいと感じています。急な下校時刻の変更やお迎えの依頼など、ここ暫くは判断が難しいことがありそうです。経験を踏まえ課題を解決しながらより円滑な方法に改善していく所存ですので、どうかよろしくお願ひしたいと思います。



また、厳寒の影響で水が枯渇し臨時休校や行事の変更を余儀なくされました。冬の水不足など経験したことのない事態です。

致し方ないこととはいえ、保護者の皆様には何かとご不便をおかけしていることを心苦しく思っております。今回のことは、水や食料、電気や燃料、衣類などの命をつなぐための手段について、非常時のことも考えて普段から備えておくことの大切さをあらためて教えてくれた出来事でした。命を守る防災のことについても、子ども達とともに学んで行く必要を感じています。

そんなこんな今年の冬ですが、荒天のときでも高学年が手に手にスコップ持って玄関前や玄関へのアプローチ、給食運搬車の駐車場などを除雪してくれている姿を見ると、心がほかほかし頼もしい思いが致します。明治のリーダー「後藤新平」が本校に残していった校訓「人のお世話にならぬよう 人のお世話をするよう そしてむくいを求めぬよう」の精神は令和の七塚の子ども達にも受け継がれているようで、安心しています。



お知らせ

令和4年度卒業証書授与式について

卒業証書授与式を下記の日時で行います。詳細は後日ご案内します。

日時：令和5年3月16日(木)

午前9時30分 開式

※児童は5年生と卒業生が参加します。1～4年生は登校しません。

※卒業生のご家庭は、1家族2名までの参加とさせていただきます。

2/24(金) 6年生を送る会について

お世話になった6年生に、感謝の気持ちを伝えるために、5年生が中心となって準備をスタートさせました。

今年度も、感染症予防のため、保護者や地域の皆様のご参観は、ご遠慮いただくことにします。何とぞご了承願ひます。

当日は、各学年が事前に撮影した出し物を6年生が多目的室で視聴します。また、保護者が後日、ご家庭で視聴できるようにします。また、6年生が視聴している様子を撮影し、他学年が視聴できるようにも致します。

学校評価の速報

二学期末に実施した児童・保護者・教職員のアンケート結果や実績などをもとにして、本校が特に力を入れて取り組んできた4つのこと〔①確かな学力の育成 ②より良い健康習慣の定着 ③社会性の育成 ④進んでより良い行動ができる児童の育成〕について成果と課題をまとめました。保護者の皆様にはアンケート回答等のご協力、ありがとうございました。

かほく市教育委員会が市内の全小学校6校で実施している「共通アンケート」の結果も加味しながら学校評価の概要をお伝えすることにします。

☆「共通アンケート」の質問内容と結果は次の通りでした。

① 《学校に行くのは楽しいか》

⇒「楽しい」63.5% + 「どちらかといえば楽しい」34.2% と答えた児童の割合は市内で最も高い。

② 《自分には、よいところがあると思うか。》

⇒「あると思う」56.8% + 「どちらかといえばあると思う」35.0% と答えた児童の割合は市内で最も高い。

③ 《将来の夢や目標を持っているか。》

⇒「持っている」68.4% + 「どちらかといえば持っている」21.2% と答えた児童の割合は市内で2番目に高い。

④ 《いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか》

⇒「思う」97.0% + 「どちらかといえば思う」1.9% と答えた児童の割合は市内で2番目に高い。

⑤ 《自分で計画を立てて勉強しているか》

⇒「している」41.0% + 「どちらかといえばしている」42.1% と答えた児童の割合は市内で2番目に高い。

⑥ 《朝食を毎日食べているか》

⇒「食べている」89.5% + 「どちらかといえば食べている」5.3% と答えた児童の割合は市内で3番目である。

⑦ 《1日（平日）に平均して何時間くらいメール・ネット（ライン・ゲーム・動画・インスタグラム・フェイスブック・ツイッターなど）をしていますか。》

⇒「2時間未満に抑えている児童の割合は3番目である。（74.7%）」



☆次に「学校評価」概要です。

二学期末に実施した児童・保護者・教職員のアンケート結果や実績などをもとにして、本校が特に力を入れてきた4つのこと [①確かな学力の育成 ②より良い健康習慣の定着 ③社会性の育成 ④進んでより良い行動ができる児童の育成] についてまとめた成果と課題の概要です。

① 確かな学力の育成

学級全員で互いの意見を聞き合いながら思考を深め、知識や技能を身につける授業を核にして、帯タイム学習や家庭学習指導等の基礎学力を定着させる取組を展開してきました。このことにより、児童個々や指導者個々の意識や思考力、スキルが高まりました。その成果は各種学力調査や学期末テストに表れています。

今後も児童、指導者ともに、身につけた能力を財産としてさらに高め、来年度に確実につなげていくとともに、必要な児童への個別支援を行っていきます。

② より良い健康習慣の定着

成長期の子供の健康にとって大切な「早寝早起き・朝ご飯」の習慣が、SNSの不適切な使用によって崩れ、視力の低下や不登校、友人関係トラブルを招いている実態が一部で見られていることから、健康チャレンジシートや家庭でのルール決め、すすく集会に向けた取組を展開してきました。この取組は児童と保護者の意識を高め、一定の成果に結びついています。

今後は、個に寄り添った支援が必要な児童に、家庭と連携しながらさらにアプローチしていきます。

③ 社会性の育成

全員が「自分にも良いところがある」と考えるようになってほしいという願いで取り組んでいます。周りの大人や友達が児童個々の良さを認め言葉にしたり、個々に目標を持たせ励まし、活動後に振り返る場面を設定したりしたことにより、前回同様高い達成率をあげました。今後は、なかなか成果が現れない一部の限られた児童に対し、寄り添いながら粘り強く温かい声かけを続けていきます。

④ いじめ防止

「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」と思える児童は、前回同様に高い割合を達成しています。しかし、つい感情的になったり、軽い気持ちで相手が傷つく言葉を言ってしまったりする事例が見られます。そのような言動に対しては、今後も見逃さずに、相手の気持ちに気づかせる声かけを続けていきます。

以上、速報でした。詳しくは次号でお知らせ致します。